無料予防教育

令和元年度文部科学省委託事業 依存症予防教育推進事業

https://isonyobou.jimdofree.com/



ご参加ください。

教育関係者や保護者、地域住民に依存症に対する正しい理解を深める場を提供します。

依存の問題は、薬物だけでなくインターネット、ゲームなど幅広い分野に広がっています。実は私たちの身近にある依存について、一緒に考えてみませんか? ハマってしまう背景に何があるのか。予防には何が大切なのか。経験豊富な支援者、依存経験者、家族の視点から情報を共有し、皆様と一緒に考える新しいタイプの予防教室です。地域で予防や支援に関わってる方はもちろん、依存症って何? と思っている方もぜひ

心形验室

お数金の息延尼ある依存症

令和元年9月29目(国)

会場

山形県生涯学習

包含—





13:35 ~ 薬物依存当事者 (鶴岡ダルク)

13:50 ~ ネット・ゲーム依存当事者・家族

14:05 ~ 薬物依存者の家族(山形家族会)

14:20 ~ ネット・ゲーム依存とは(本間 史祥 氏 子どものネットリスク研究会研究員)

14:55 ~ 休憩

15:00 ~ 薬物依存とは (小林 桜児 氏:神奈川県立精神医療センター専門医療部長)

15:35 ~ パネルディスカッション (司会 近藤 京子 氏)

16:25 ~ アンケート記入・閉会

主催

団体名:NPO 法人全国薬物依存症者家族会連合会

代表者名:理事長 横川 江美子

所在地:東京都足立区竹ノ塚 5-18-9-207

TEL: 03-5856-4824 Fax: 03-5856-4827

E-mail: yakkaren@ck9.so-net.ne.jp WEB: http://www.yakkaren.com/ 後援予定

場アクセスマップ

山形県、山形県教育委員会 山形市、山形市教育委員会 山形県依存症関連問題研究会 山形県養護教諭連絡協議会

小林 桜児 氏

2000年信州大卒。

横浜市大附属病院で研修後、NTT 東日本伊豆病院、神奈川県立精神医療センター、国立精神・神経医療研究センター病院を経て、2013 年〜神奈川県立精神医療センターに戻り、2018 年 4 月〜医療局長。専門はアルコール・薬物依存症の臨床。

近藤 京子 氏

一般社団法人オンブレ・ジャパン代表理事やっかれん・プログラム・コーディネーター。

を開発。

ンを設立。

1999年より ASK (アルコール薬物問題全国市民協会)発行・季刊 Be! の編集に携わる。2009年、スペインで年間1万8000人のアディクション問題を持つ人とその家族に対応する非営利組織「プロジェクト・オンブレ」で特別研修を受ける。帰国後は、各地の依存症関連施設や家族会などでグループを担当するほか、当事者、家族向けプログラム

2019年、一般社団法人オンブレ・ジャパ

本間 史祥 氏

子どもネットリスク教育研究会副 代表 公立中学校教諭 1987 年生まれ。

2008年、学生ボランティア団体「弘前大学ネットパトロール隊」設立

2010年 弘前大学教育学部技術教育講座 卒業

2008年から弘前大学「ネット&いじめ」問題研究会に所属し、講演や出前授業・調査研究等の活動に携わる

2015 年子どものネットリスク教育研究会副代表

【研究業績】

- ●拙著「子どものネット・ケータイ問題に対するリスク教育プログラム」弘前大学教育学部卒業論文
- ●監修:大谷良光、編著:本間史祥「2009年版子ども 支援者のためのネットリスク 教育テキスト」初版

プロフィール

依存症は、 家族を巻き込む病気です。 家族会には同じ悩みを 抱えた仲間がいます。 安心して何でも話せる場所があります。

山形家族会

一人で抱え込まず、

勇気をもって家族会へ足を運んでみませんか。

山形家族会例会

場所:山形市男女共同参画センター

日時:毎月第4土曜日 13:30~15:30

鶴岡ダルク

当施設は、ミーティング、ボランティア活動などを通して、アルコール、薬物の依存症から回復し、社会復帰までの訓練をする場です。また、学校や地域団体の要請に応じ、薬物乱用予防の学校公演や、刑務所での薬害教育への参加等、予防・啓発事業も行っております。









参加申し込みページ



当日参加も可能、先着 105 名

お名前		
メールアドレス		該当する項目の□にチェックを入れてください。
所属	□行政 □教育 □医療 □当事者家族 □回復支援施設 □アディ	クション関係団体 □薬家連 □学生 □報道 □一般
お知りになった経緯	□ウェブサイト □友人 □ニュースレター □チラシ □薬家連 □その他広告	